

「おもてなし」に大満足



商店街は大賑わい

11月24日、末吉本町商店街通りで「末吉おもてなしホコ天」が開催され、多くの人で賑わいました。  
 当日は黒豚のしゃぶしゃぶや豚汁、パンジーの苗など様々な「おもてなし」無料商品が用意され、配布場所には長い列ができていました。  
 また、路上にはフリーマーケットやお菓子、お茶、雑貨など多数の店が並び、太鼓の演奏やダンスパフォーマンスなども催されました。  
 訪れたお客さんは、盛りだくさんの「おもてなし」に大満足の様子でした。

子どもたちが大きな声援



ステージに向かって声援をおくる子どもたち

11月13日、末吉総合センターで劇団飛行船による「7ひきのこやぎと狼」が開催されました。劇団飛行船による公演は、総合センター開館当初から約30年続いています。  
 当日は、市内の子どもたちを中心に約五〇〇名が集まりました。こやぎたちがオオカミと知恵くらべをする場面では、子どもたちはステージに向かって大きな声援を送っていました。  
 覚照保育園の東詩乃さんは「やぎの手はゴツゴツしていました。おもしろかったです」と話しました。

宮西達也さんおはなし会



読み聞かせをする宮西さん

11月7日、曾於市立図書館で絵本作家 宮西達也さんのおはなし会が開かれました。宮西さんは、「ニャーゴ」や「おまえうまそうだな」などの作品を発表している人気の絵本作家です。  
 人気作家のおはなし会とあって、整理券はまたたく間に配布が終了。当日は一三〇名のお客さんが集まりました。読み聞かせが始まると、宮西さんのテンポのよい語り、会場は大きな笑いに包まれました。笑いの中にも、優しさのつまったすてきなおはなし会になりました。

手遊び歌でみんな笑顔



みんなで一緒に手遊び歌

11月27日、財部町退職公務員連盟（総数一〇九名）の会員12名が、特別養護老人ホームたからべ園を訪問して、歌や楽器の演奏を披露しました。  
 同連盟が、たからべ園を訪れたのははじめてのことです。演奏が始まると、入所者の方も一緒になって歌を口ずさみました。「むすんでひらいて」などの手遊び歌ではみんなで歌いながら手足の体操をしました。  
 入所者の方は「本当に楽しかったです。全ての演奏が良かった。また来て欲しい」と笑顔で話しました。



薬丸自顕流を体験

心と体を鍛えました

11月16日、青少年リーダー研修生17名が、薬丸自顕流を体験しました。薬丸自顕流は、千年の歴史があり、その特徴は、第一撃にすべてをかけた攻撃あるのみという薩摩の剣術です。

当日は、講師による自顕流の紹介・演武が行われた後、研修生が体験打ちを行いました。初めは恥ずかしそうにしていたですが、次第に大きい声が出るようになり、木刀を打ち込む姿がだんだん様になっていきました。

鹿児島に伝わる貴重な文化を、若い世代が引き継いでほしいですね。



本を手にする鍋山美智子さんと後藤さん

ふるさとをこよなく愛する人たちへ

恒吉の住民と出身者の方が「ふるさと恒吉絵地図物語」を出版しました。本づくりのきっかけは、平成20年の「恒吉の歴史を語る会」の発足です。会の中で語られた戦前生まれの方々の暮らしにまつわる証言などを出所として、後藤大志郎さんを中心とした6名が編集執筆をしました。

本には文章と共に絵地図が載っており、恒吉郷・恒吉村時代の住民の暮らしを生きいきと伝えてくれます。

本の購入を希望される方は、後藤さん11099(484) 1137まで。



曾於市のお茶をPR

お客さんへお茶でのおもてなし

11月23日、道の駅すえよしの「創業祭」で、曾於市茶業青年が結成する「ソオ・ティーワークマンズ」の皆さんが宣伝活動を行いました。同団体は、松尾一角さんを代表として、会員13名で構成されています。

当日は、会員が生産したお茶の試飲やお茶を使ったホットケーキを振る舞い、お客さんに曾於市のお茶をPRしました。

会員の皆さんは「消費者の方の意見を直接聞くことで、良いお茶づくりに励みたい」と話しました。



表彰状を手にする神崎支部会長

地域の交通安全活動に貢献

11月13日、鹿児島県民交流センターで開催された「第34回交通安全母の会鹿児島県大会」で、交通安全母の会末吉支部が団体の部で表彰されました。

地域における交通安全活動が評価されたの表彰です。当日は、支部会長の神崎陽子さんが「私たちの活動について」と題して、普段の活動内容などを発表しました。幼児学園で披露した遊び歌を交えての発表には、会場から大きな拍手が贈られました。

今後も曾於市の交通安全のために、ますますの活躍が期待されます。

健康について楽しく学ぼう



みんなでピラティスを体験

11月30日、生きいき健康センターで「平成25年度曾於地区健康フェア」が開催されました。これは楽しく学べる体験型の健康イベントとして、曾於地区二市一町（曾於市、志布志市、大崎町）と曾於医師会が主催するものです。当日は、約一七〇名の方が集まり、健康に関する劇や講演に耳を傾けました。また、会場内には体操や体力測定などのブースが設置されており、ピラティスを体験した女性は「とてもよい勉強になりました。また体験したいです」と話しました。

曾於市へまた来やんせ



手を振って生徒たちをお見送り

12月3日、4日の2日間、大阪府立藤井寺工科高等学校の生徒36名が教育旅行で曾於市を訪れ、民泊体験を行いました。教育旅行生を受け入れたのは、曾於市グリーンツーリズム協議会に加入する11家族です。  
生徒は受け入れ先の家庭で一泊し、牛の世話や野菜の収穫など農業体験をしました。また、そば打ちに挑戦した生徒もあり、曾於市の自然が生み出した味に感動していました。一泊二日と短い期間でしたが、最後には、皆が笑顔で再会の約束をしていました。

肝付町と観光交流



山中顕彰館をガイドが案内

曾於市観光特産開発センターは、平成23年から肝付町と観光交流を行っています。これを受け、11月30日、肝付町の観光ガイドら観光関係者が、曾於市を研修に訪れました。  
当日は、曾於市のガイドが山中顕彰館や熊野神社、悠久の森などを案内、昼食には「ゆず三昧料理」を堪能しました。その後、意見交換会を行い、交流を深めました。肝付町のガイドは「曾於市ガイドのボランティア精神に感銘を受けました。この交流を大切にしたい」と話しました。

曾於市肉牛枝肉共励会



市長賞に輝いたみごとな枝肉

12月2日、南九州畜産興業株式会社で曾於市肉牛枝肉共励会が開催され、市内の肥育農家から85頭（和牛去勢55頭、和牛雌30頭）が出品されました。  
最優秀賞一席市長賞に輝いたのは、末吉町岩崎の向田哲郎さん（むこうたてつろう）が出品した雌牛で、格付けはA5ランク、脂肪交雑やロース芯の面積などが高い評価を得たすばらしい枝肉でした。  
向田さんは「一年を締めくくる共励会で、思いもしない成績をおさめることができ、大変うれしいです」と話しました。